

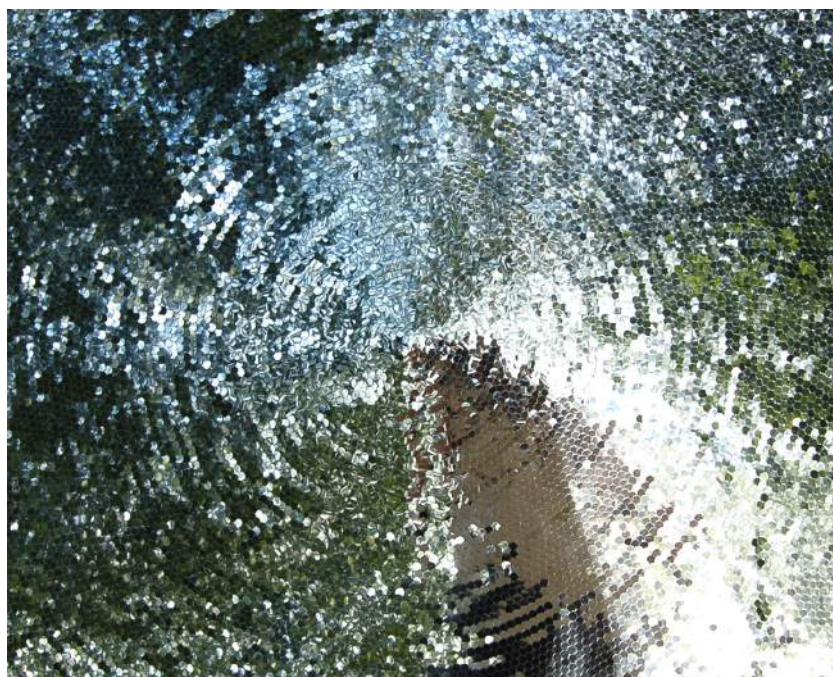
SICF16 グランプリアーティスト展

かぐらおか く み

神楽岡久美『光を摘む』

会期：2015年10月2日（金）～10月8日（木）

会場：ショウケース（スパイラル1F）



「SICF16」グランプリ受賞作品『光を摘む』（2015）

光を摘む

光は万物に反射し、私たちの瞳をうつ。

それは目に見えない速さで、鮮明な視界を広げている。

「反射する光の粒を瞬時に摘み、それを束にし、確かな情報として記憶にとどめている。」

としたとき、視力という身体能力は、システムチックでスピーディーだが、

私は自分の意思で光を摘み、束ねてみたいと思った。

そこにどんな世界を見ることができるだろう。

————— 神楽岡久美

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp/>

spiral®

スパイラルは、今年5月に開催した「SICF16」(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)に於いて参加100組のクリエイターの中からグランプリに選ばれた^{かぐらおかくみ}神楽岡久美による個展『光を摘む』を2015年10月2日(金)～8日(木)に開催します。

神楽岡久美によるシリーズ作品『光を摘む』は、小さな鏡による光の粒の集合体に、鑑賞者が点描画のように映し出され、見る者と作品が呼応する様がとても印象的な作品です。作品自体が「アートを生み出す装置になる」という視点や、「光を捉える」という明快なコンセプトと、コンセプトに対する緻密な裏付けの提示が評価され、「SICF16」でグランプリを受賞しました。本作は、アナログな手法で、まるでデジタル化されたかのような自分の姿と対峙する視覚体験を通じ、我々に新たな視点を与え、未知の世界へいざないます。

今回の個展では、『光を摘む』のシリーズを引き継ぎ、作品規模を拡大させ、周囲の環境を取り込みながらよりダイナミックに、空間インスタレーションを展開します。

この機会にぜひ本展のご取材、ご掲載を検討くださいますようお願いいたします。

審査員コメント (一部抜粋)

皆川明 (minä perhonen デザイナー)

明快なコンセプトを緻密な検証をし、表現に至っている。単体での2次元の対面でも3次元の空間においても可能性は広がるだろう。壁面から環境までその表現は、広がっていくのだろう。光と色の存在を感じる作品だった。より空間の広いスペースで流動的な環境の中で体感として(公共スペースの中など)多様性の中で見てみたい。

三木あき子 (キュレーター、元パレ・ド・トーキョー[パリ] チーフ/シニア・キュレーター)

光の断片を摘むというイメージし難い行為、その視覚体験装置を作るという発想はデジタル化時代を反映しつつ、一方で詩的かつ原始的な体験を想起させ、どこか人間の感性拡大の夢に繋がっているように思えて興味をもった。また、これまでの活動からは、アート、ファッション、空間デザインといった既存のカテゴリーに納まらない横断的な創作の可能性とセンスの良さが感じられ、個展展示に期待を抱かせた。

プロフィール

神楽岡 久美 Kumi KAGURAOKA

【略歴】

2012 武蔵野美術大学大学院造形研究科デザイン専攻空間演出デザインコース 修了
2012-14 玩具企画デザイン会社にて商品企画、開発、デザイン、展示空間ディレクターを務める。

【主な受賞歴】

2008 「装苑」第83回装苑賞 入選
2012 武蔵野美術大学大学院 修了制作優秀賞 受賞
2015 SICF16 グランプリ 受賞

【主な活動】

2007 「"r u shinbi ?!"」グループ展 (アートギャラリー&ショップ キアン/東京)
2009 津村耕佑氏キュレーション「DREAM CONSCIOUS かたちになりかけた夢」
(YUKA CONTEMPORARY/東京)
2010 六本木アートナイト「津村耕佑による星空傘」にて「星雲の傘」制作 作品提供
2010 WINTER MARKET TOKYO CET AREA COLLECTION -HOME PARTY-作品提供
2010 グループ作品展示 (十和田現代美術館/青森)
2011 「sakiori-bu 企画 裂織ワークショップ」企画 (十和田現代美術館/青森)
2015 SICF16 出展 (スパイラルホール/東京)

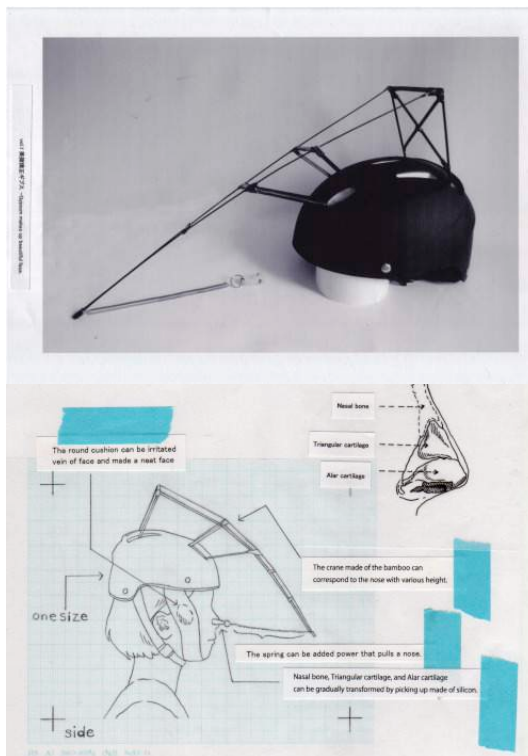
参考資料：神楽岡久美 過去作品



「bird cloth 3」(2010)



「星雲の傘」(2010)



「人体矯正ギプス what is beautiful body?」(2006)



BankART Studio NYK

アーティストインレジデンス 2015 の様子

開催概要

SICF16 グランプリアーティスト展 神楽岡久美 『光を摘む』

会期	2015 年 10 月 2 日 (金) ～8 日 (木) 11:00～20:00
入場料	無料
会場	ショウケース (スパイラル 1F) 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
お問い合わせ	03-3498-1171 (スパイラル代表)
URL	http://www.spiral.co.jp/e_schedule/detail_1630.html
主催	株式会社ワコールアートセンター
企画制作	スパイラル

SICF（スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）とは

スパイラルが2000年から開催している企画運営する公募展形式のアートフェスティバルです。様々なジャンルのクリエイター100組を選出し、若手作家の発掘・育成・支援を目的として、毎年ゴールデンウィーク期間中、スパイラルホールを舞台に、次代を担う新しい才能を紹介しています。

2016年の「SICF17」開催日程は下記の通りです。

意欲的なクリエイターのご応募をお待ちしております。

■「SICF17」参加クリエイターの公募期間

2015年11月1日（日）～2016年2月25日（木）

■「SICF17」開催日（予定）

2016年5月1日（日）～4日（水・祝）



「SICF16」会場風景

参考資料：SICF16各賞受賞者

- ▶ 準グランプリ：上路市剛^{かみじいちたか}、宮ヶ丁渡^{みやがちょうわたる}
- ▶ オーディエンス賞：関川こうじ
- ▶ アーホ！賞：amano yumi
- ▶ 佐藤尊彦賞：村田実莉
- ▶ 紫牟田伸子賞：小池奈緒
- ▶ 三木あき子賞：瀬川辰馬
- ▶ 皆川明賞：FUKILAU
- ▶ スパイラル奨励賞：後藤宙



準グランプリ受賞 上路市剛



準グランプリ受賞 宮ヶ丁渡

撮影：市川勝弘

NEWS

< 同時期開催 >

スパイラル 30 周年記念展覧会

「スペクトラム ―いまを見つめ未来を探す」

「生活とアートの融合」という活動テーマのもと独自の文化活動を発信し続けてきたスパイラルの30周年記念展です。現代の窮屈な日常や、時代の閉塞感に立ち向かい、表現領域にとらわれることなく、多様な文化、思想、表現を吸収しながら新しい価値を提示する、栗林隆、榊原澄人、高橋匡太、毛利悠子の4名を紹介します。

会期：2015年9月26日（土）— 10月18日（日）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）、スパイラル5F

入場料：無料

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

お問い合わせ先：TEL: 03-3498-1171（スパイラル代表）

URL：http://www.spiral.co.jp/spectrum